

令和3年度 事業計画書

東京都品川区旗の台一丁目5番8号



学校法人 **昭和大学**

はじめに

新型コロナウイルスの世界的流行により、日本国内における生活は様変わりしました。本学においてもこの危急な問題の対応に迫られ、迅速な意思決定に基づいた様々な体制・施設の整備を実施するとともに全職員が一丸となり難局を乗り越えてまいりました。この新たな環境においても昭和3年（1928年）の創立以来受け継がれてきた「至誠一貫」の建学の精神を備えた優れた医療人を世の中に送り出し、社会に大きく貢献するという理念を揺るぎない軸として、教育・研究・診療の発展に一層寄与すべく、中期計画に基づいた令和3年度の事業計画を策定いたしました。

法人事業として、「医系総合大学」である昭和大学の魅力ある教育をより一層充実させることを目的とし、新キャンパス整備事業を推進します。各キャンパスの整備についても、旗の台キャンパスにおいては、昭和大学卒後研修棟（仮称）の建築工事、富士吉田キャンパスにおいては、自然教育園の整備を引き続き行うとともに、新学生寮やスモールグループスタディセンター（SGSC）の建設計画について検討します。また、セカンドステージの学びを求める社会的要請に応えるべく昭和大学リカレントカレッジを開講します。

教育活動においては、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を踏まえたカリキュラムの改変や修学支援体制の構築を行います。また、同様に各キャンパスのネットワーク環境やオンライン教育システムを整備し、より一層の教育の質向上に努めます。

研究活動においては、統括研究推進センターを中心とした研究支援体制の様々な改革を推進し、研究者の研究活動のより一層の充実ならびに外部資金の獲得を目指します。

各附属病院においては、医師の業務負担軽減等について継続的に検証、実行するとともに、変形労働制や適切な労務管理を行い、働き方改革を推進します。また、地域・附属病院間での連携強化や効率的な病棟・病床の利用を進め、各附属病院で収支バランスの取れた運営を行い、経営基盤の更なる強化に努めます。

このように、令和3年度も様々な事業計画を策定いたしました。大学や病院を取り巻く環境が厳しくなる社会情勢ではありますが、さらなる教育・研究・診療の質向上のために邁進したいと考えておりますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校法人 昭和大学
理事長 小口 勝司

教育・研究・診療の充実に向けて

昭和大学は、学祖上條秀介博士が唱えた「至誠一貫」の精神のもと、「社会に貢献する優れた医療人の育成」という建学の理念をもって教育・研究・診療の発展に努めております。

その精神・建学の理念に基づき、変化する社会のニーズに合致した十分な知識、技能、態度を修得できるような学修体制の構築を目指し、令和3年度における大学運営の目標を策定いたしました。

学部教育においては、各学部の課題に合わせたカリキュラム改革を継続して推進するとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を踏まえた講義・演習方式の構築を進めます。学部ごとの点検・評価を継続して進め、分野別認証評価を踏まえた準備・改善を推進します。入学試験のあり方も継続して検証します。また、昨年度創設された給付型奨学金である「シンシアー奨学金」をはじめとする奨学金制度、学生の勉学・諸活動を支援する指導担任制度や修学支援制度を充実し、本学独自の修学支援体制をより一層強化します。さらに、本学の初年次教育の基盤となる全寮制度の充実に向けた寮や学習室の整備を行います。

大学院においては、学部在学中（4・5・6年次）から大学院単位が取得できる「Multi-Doctor（MD）プログラム制度」や「特別奨学金制度」、「秋入学制度」等の諸制度について積極的な広報活動に継続して取り組み、幅広く優秀な人材を獲得します。また、社会の要請に応え得る新たな領域・コースの設置についても検討を進めます。

研究については、統括研究推進センターによる様々な施策を推進し、より充実した研究環境を創出するとともに、研究者のレベルに応じたセミナーの開催や科研費・AMEDといった代表的な競争的資金だけでなく民間助成金等の外部資金についても情報収集・提供を行い、競争的資金の獲得強化を図ります。

社会人教育においては、セカンドステージの学びを求める社会的要請に応え、地域社会に貢献するとともに本学の教育研究活動の活性化を図ることを目的とした昭和大学リカレントカレッジを開講します。

これらの施策により、教育・研究・診療の充実に努め、本学の更なる発展を目指す所存でありますので、皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。

昭和大学

学長 久光 正

学校法人昭和大学 令和3年度事業計画

令和3年度は、本学の目的・使命に基づき、教育・研究・診療の発展に引き続き寄与するため、事業計画を策定し、以下の通り主要事業を推進します。

【主要事業】

I. 法人

(1) 新キャンパス整備事業

医系総合大学である昭和大学の魅力ある教育をより一層充実させることを目的とし、新キャンパス整備事業を推進します。

(2) 藤が丘病院再整備計画

平成30年10月に締結した「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」に基づき、横浜市、東急株式会社と連携して藤が丘駅前地区再整備基本計画の作成を進め、藤が丘病院の再整備に向けた具体的な計画づくりに取り組みます。

(3) 富士吉田キャンパス整備計画

昭和大学の全寮制教育を担う富士吉田キャンパスにおいて、学生寮の新たな建設計画および学生の学びを支えるSGSCの新設計画を推進します。また、引き続き自然教育園の整備も実施します。

(4) 昭和大学卒後研修棟（仮称）建築工事

学部学生や臨床研修医の基本的手技、専門的な技術等、臨床技能の習得を目指す医療実践能力向上の場、チーム医療の総合的な学修を行うシミュレーション教育の学びの場、ひいては昭和大学の医療人教育の一助とするべく、今年度7月竣工を目指し昭和大学卒後研修棟（仮称）の建築工事を推進します。

(5) 昭和大学リカレントカレッジ開講

セカンドステージの学びを求める社会的要請に応え、地域社会に貢献するとともに本学の教育研究活動の活性化を図ることを目的として、社会人の「知の探究」の一助となる様々な魅力あるプログラムを提供する昭和大学リカレントカレッジを開講します。

II. 教育

(1) 教育改革の推進

各学部においてカリキュラムの改変や修学支援体制を強化するとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を踏まえたオンラインとオフライン（対面式）での講義・演習の融合を図ることで、教育改革を推進します。

(2) 教育環境整備

ICT 環境充実のため各キャンパスのネットワーク環境の更新を行い、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を踏まえたオンライン教育システムを検討、推進します。

(3) 学修支援体制の充実

昨年度、社会に貢献する医療人の育成を目的として創設された給付型奨学金である「シンシアー奨学金」をはじめとする奨学金制度を充実します。また、学生の勉学・諸活動を支援する指導担任制度や修学支援制度について、効果検証の結果やコロナ禍を踏まえ策定した新たなガイドラインを用い、より質の高い指導体制を構築します。

(4) 大学院進学への推進および大学院教育の充実

本学大学院が幅広く優秀な人材を獲得するため、「MD プログラム制度」や経済的支援制度（特別奨学金・大学院奨学金）、秋入学制度等、様々な制度を積極的に周知し、大学院生の募集活動を推進するとともに、細やかな指導や先端的研究の推進、教育職員の指導力の向上等に努めます。

(5) 保健医療学研究科における教育課程改革

医学物理士を養成する「医学物理士教育コース」、認定遺伝カウンセラーを養成する「遺伝カウンセラーコース」の教育を開始するとともに、社会の要請に応えるべく新たな領域・コースの設置を検討します。

(6) 卒後教育の充実

臨床研修医教育、専攻医教育や生涯教育等の卒後教育において、様々な団体と連携した本学の独自のプログラムを提供し、検証・改善を重ね、より質の高い教育体制を構築します。

Ⅲ. 研究

(1) 昭和大学研究所の活動推進

先端がん治療研究所、臨床薬理研究所、発達障害医療研究所及びスポーツ運動科学研究所において、それぞれの特色を生かした研究活動を更に推進します。

(2) 研究能力開発及び人材育成

ICT を活用したセミナーやオンライン学習システムの提供、オンライン会議システム及びメールを利用した相談対応によって、教育職員・大学院生の研究能力を開発します。また、研究・教育の次世代指導的人材育成プログラム（SUNLiSE）による継続的人材育成および成果の発信により研究活動を支援します。

(3) 研究活動推進のための環境整備

研究活動充実のため統計解析ソフトや論文剽窃チェックソフト、論文作成支援ソフト等の提供や研究倫理審査システムの導入を推進します。また、データの信頼性確保のための管理や生物統計をデータ管理室において支援する等、環境整備を進めます。

(4) 競争的資金獲得の推進

科研費採択率の増加を目指し、研究者のレベルに応じたセミナーを開催します。また科研費・AMED等の代表的な競争的資金だけでなく、民間助成金等の外部資金についても情報収集・提供を行い、競争的資金獲得を推進します。

(5) 臨床研究における支援体制の充実

各附属病院臨床研究支援センターおよび臨床研究支援室に臨床研究アドバイザーを配置し、統括研究推進センターと連携することで、臨床研究における支援体制を充実します。

(6) 産学連携における体制の強化

学内の研究シーズ集作成による学内外への情報発信、各種パートナーリングイベントへの出展による産学連携マッチングを強化します。また、保有する知的財産の事業化・実用化に向けた支援体制を強化するとともに、新たな研究アイデアを事業に効率よく結びつけるべく、起業化相談窓口を設置し幅広い支援強化に努めます。

IV. 国際交流

(1) 新たな国際交流活動の展開

ウィズコロナ・ポストコロナの社会情勢を踏まえた新たな国際交流活動を展開します。

(2) 国際的医療人育成のための教育支援

Webを利用した協定校の学生とのOnline Joint Seminarや、語学研修を中心としたプログラムを提供し、国際的な医療人育成のための教育支援を実施します。

(3) 留学生に向けた環境整備

外国人留学生や招聘研究者が安心して研修・研究ができるよう環境を整備するとともに、新型コロナウイルスへの感染防止に向けた対策を徹底します。

(4) 協定校等との活動推進

オンラインでカンファレンス等を行い、協定校との交流を推進します。また、海外で活躍している卒業生等を通じ、共同研究や学生相互交流等、新たな活動も推進します。

(5) 国際交流活動の情報発信

国際交流センターにて発行する News Letter や年報、ホームページの充実、様々な国際的な開発目標への参画を通じて情報発信を行います。

V. 診療

(1) 働き方改革の推進

新たな勤怠管理システムの導入やシフト勤務制を継続推進し、医師事務作業補助者の業務拡大等を行い、医師の業務負担軽減について計画的に推進します。加えて、変形労働時間制の更なる推進、職員の適切な労務管理を推進します。

(2) 昭和大学病院の施設整備計画

特定機能病院として高度医療の提供を更に充実させるため、新たに入院棟 2 階に ICU・CCU を設置する施設整備計画を推進するとともに、入院棟 17 階レストラン跡地の有効利用について検討します。

(3) 収支バランスの取れた病院運営

手術室の運用合理化を目指した中央管理体制の実現、地域・附属病院間での連携強化、効率的な病棟・病床の利用を進め、各附属病院で収支バランスの取れた運営を行います。

(4) 放射線検査・治療における X 線管理システムの導入

医療法施行規則の一部を改正する省令等に基づき放射線治療を受ける者の医療被ばく防護を踏まえた診療用放射線にかかる安全管理体制を構築するため、各附属病院において X 線管理システムを導入します。

(5) 中期計画に則した機器更新、工事・建物設備維持管理の実施

中期計画に基づき、設備の整備・更新を実施し、経年劣化に伴う建物の補修や維持管理を計画的に行います。

VI. 管理運営

(1) 管理運営体制の整備と円滑な法人運営

①活性化推進の活動

法人・大学活性化推進プロジェクト及び病院活性化推進プロジェクトを引き続き実施し、運営上の問題点を顕在化させ、その解決策を立案し、法人運営に迅速かつ具体的に反映させます。

②大学機関別認証評価の受審

公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別機関認証評価を今年度受審し、教育の質の保証と向上に努めるとともに、本学の特色ある教育研究活動等の展開推進に努めます。

③学校債の募集

昨年度に引き続き、初年次全寮制教育を支える富士吉田キャンパスの校舎・学生寮等の施設・設備のより一層の充実を目的とした学校法人昭和大学学校債の募集を推進します。

④寄付金募集活動の強化

よりよい教育環境作りの実現による本学の更なる発展に向け、昭和大学サポート寄付制度の募集活動を強化します。また、創立 100 周年を踏まえ、同窓生や学生保護者をはじめとする様々な方からの理解や共感を得ることが出来る募金計画を検討、展開します。

⑤大学運営戦略の強化

大学の教育に関するデータを収集し、定期試験・卒業試験と国家試験との関係性を明確にすることで教育体制の充実を図ります。

⑥病院運営戦略の強化

附属病院の運営に関するデータの収集・分析を行い、手術実施件数の増加や地域連携の充実に向けた運営改善を実施します。

(2) 施設設備の整備・活用

①情報ネットワークの再整備

総合情報管理センターを中心に、大学全体の情報ネットワーク環境の整備・管理、教育系・事務系システムの更新、セキュリティ対策の強化を推進し、教育・研究等の支援を強化します。

②校地・校舎取得

本学の将来における様々な事業活動の可能性を考慮し、適切に校地・校舎の取得を行います。

(3) 広報活動の推進

各附属病院の公式ホームページに、目的の診療科や専門外来を素早く検索できる機能を導入します。これは、患者さんやご家族、医療関係者の方が、症状、病名、身体部位、医師名等から目的の診療科を探すことが出来ます。この機能より必要な情報をわかりやすく提供できるようになり利便性の向上が図られます。

(4) 他大学・地域との連携強化・充実

連携協定を締結している大学・自治体と各関係部署の間で、定期的な連絡会を実施し、連携の強化に努めるとともに具体的な連携事業の実現に取り組み、地域貢献に向けた活動を積極的に実施します。

主な事業計画

1. [法人]

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|
| 1) 新キャンパス整備事業 | 2) 藤が丘病院再整備計画（令和3年度分） |
| 3) 昭和大学卒業研修棟（仮称）整備 | 4) 昭和大学病院再整備計画（設計・監修業務） |
| 5) ポリフェノール含有研究原料の製品化事業 | 6) 東京2020オリンピック・パラリンピック医療協力等事業 |
| 7) 放射線検査・治療におけるX線管理システム | 8) 医療情報システム オンライン資格確認システム |
| 9) 不動産整備 | 10) 武蔵小山寮再整備（計画） |
| 11) 昭月寮外壁等改修工事（1/2期） | 12) ハローウェスト藤が丘給水管更新工事（1/5期） |
| 13) 教学システム更新（2/3期） | 14) 旗の台キャンパス1号館耐震補強工事（計画） |
| 15) 旗の台キャンパス1号館1階歯科理工実習室整備（2/3期） | 16) 旗の台キャンパス1号館B1階動物舎PAC1・2更新工事（2/2期） |
| 17) 旗の台キャンパス4・5・6号館耐震補強工事 | 18) 旗の台キャンパス15号館改修工事 |
| 19) 旗の台キャンパス16号館隣接地利用（計画） | 20) 旗の台キャンパスネットワークシステム更新 |
| 21) 旗の台キャンパス講義室等ネットワーク再整備 | 22) 洗足キャンパス講義室等ネットワーク再整備 |
| 23) 昭和大学横浜自然教育園整備事業（2/4期） | 24) 昭和大学横浜自然教育園整備事業（計画）（3/4期） |
| 25) 昭和大学横浜自然教育園整備事業付帯工事 | 26) 昭和大学横浜自然教育園整備に伴う長津田テニスコート施設照明更新 |
| 27) 横浜キャンパス熱源設備更新工事（2/3期） | 28) 横浜キャンパス講義室等ネットワーク再整備 |
| 29) 横浜キャンパスワイヤレスマイクシステム更新工事 | 30) 富士吉田キャンパス赤松寮・SGSC新設工事（計画） |
| 31) 富士吉田キャンパス赤松寮・SGSC解体工事 | 32) 富士吉田キャンパス1号館耐震補強工事 |
| 33) 富士吉田キャンパスネットワーク更新工事（2/3期） | 34) 富士吉田キャンパスワイヤレスマイクシステム更新工事 |
| 35) 富士吉田キャンパス自然教育園造園工事（移植・植栽・造成） | |

2. [昭和大学病院]

1) 医療機器等

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| (1) 入院棟2階ICU・CCU新設機器 | (2) 入院棟17階特別病棟用機器備品 |
| (3) 人工心肺装置（成人・小児対応） | (4) 無影灯及び映像記録システム3式 |
| (5) 周産期母子医療センター施設整備等補助事業 | (6) 放射線検査・治療におけるX線管理システム |
| (7) 栄養科厨房改修に伴う機器更新1式 | (8) CT DICOMサーバー |
| (9) 高圧蒸気滅菌装置 | (10) 医療情報室システム関係 |
| (11) 持続緩徐式血液ろ過装置ACH-Σ | (12) 生体情報モニタ（ICU） |
| (13) 生体情報モニタ、ベッドサイドモニタ、送信機N14 | (14) 移動型X線透視診断装置 |
| (15) 超音波診断装置Noblus | |

2) 施設設備

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 入院棟2階ICU・CCU整備工事 | (2) 入院棟17階特別病棟新設改修、専用EV改修工事 |
| (3) 中央棟12号館1階へ病院事務部機能移設工事 | (4) 中央棟1階総合サポートセンター移設・拡充工事 |

- (5) 入院棟 9 階病棟 913・915・916 号室個室トイレ改修
- (7) 中央棟防災盤更新工事 (2/3 期)
- (9) 中央棟非常用自家発電機 D 点検
- (11) 入院棟冷温水発生機分解整備 (1/6 期)
- (13) 入院棟屋上防水一部補修
- (15) 入院棟 14 階病棟 18・20 号室改修工事
- (17) 入院棟屋上梁・柱防水工事

- (6) 入院棟栄養科厨房改修工事 (3/4 期)
- (8) 入院棟非常用自家発電機 E 点検
- (10) 中央棟冷温水発生機 RB-2 分解整備・薬品洗浄
- (12) 入院棟各階ファンコイル更新・洗浄 (2/6 期)
- (14) 入院棟冷水熱交換プレート分解整備
- (16) 入院棟 14 階病棟患者トイレ増設工事

3. [昭和大学病院附属東病院]

1) 医療機器等

- (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム
- (2) 医療情報室関係システム
- (3) 高圧蒸気滅菌装置

2) 施設設備

- (1) 病棟ファンコイル更新工事 (3/3 期)
- (2) 水冷モジュールチラー分解整備工事 (3/3 期)
- (3) 6 階病棟個室陰圧変更工事

4. [藤が丘病院]

1) 医療機器等

- (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム
- (2) 可搬型手術用顕微鏡
- (3) 超音波診断装置

2) 施設設備

- (1) 電話交換機設備 (PBX) 更新工事

5. [藤が丘リハビリテーション病院]

1) 医療機器等

- (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム

2) 施設設備

- (1) 空調機更新工事 (4/6 期)
- (2) ボイラー更新工事

6. [横浜市北部病院]

1) 医療機器等

- (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム
- (2) 院内調剤システム
- (3) PET/CT 装置
- (4) 超音波診断装置
- (5) 電動手術台
- (6) 解析機能付セントラルモニタ

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| (7) 点滴作成台 (5/5 期) | (8) 一般ベッド購入 (5/10 期) |
| (9) 心臓カテーテル検査装置 | (10) 2 筒式造影剤注入装置 |
| (11) 耳鼻科外来内視鏡システム | |
| 2) 施設設備 | |
| (1) 中央監視システム装置更新工事 (4/4 期) | (2) 空調 PAC 更新工事 (3/5 期) |
| (3) 自火報設備 受信機等更新工事 (1/2 期) | |

7. [江東豊洲病院]

1) 医療機器等

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| (1) IP 電話 (スマートフォン) 更新 | (2) 放射線検査・治療における X 線管理システム |
| (3) 超音波診断装置 (生理機能検査室) | (4) 手術動画システム サーバー更新 |
| (5) 東京都周産期母子医療センター施設整備補助事業 | (6) NBC 災害・テロ災害対策設備整備費補助事業 |

8. [豊洲クリニック]

1) 医療機器等

- (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム

9. [烏山病院]

1) 医療機器等

- (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム

2) 施設設備

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) 入院棟 PAC エアコン更新工事 (1/6 期) | (2) 入院棟冷温水発生機分解工事 (1/2 期) |
| (3) 中央棟冷温水発生機更新工事 (3/4 期) | (4) 中央棟 PAC 更新 (5 年計画 4/5 期) |
| (5) 精神科救急病棟改修工事 | |

9. [歯科病院]

1) 医療機器等

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| (1) 放射線検査・治療における X 線管理システム | (2) デジタル口内法撮影システム |
|----------------------------|-------------------|

2) 施設設備

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| (1) 1 号棟 1 階ホール及び通路改修工事 | (2) 4 階西診療室改修工事 |
|-------------------------|-----------------|

[土地取得]

- (1) 土地取得

結 び

令和３年度の事業計画は、以上各号に述べたとおりであります。

私立大学を取り巻く社会・経済の状況は誠に厳しいものがありますが、今後とも各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021 年 3 月 31 日

学 校 法 人 昭 和 大 学

